

自由民主党

託して安心の即戦力！市議 和田直也 の 市政報告。

BLUE - SKY REPORT - - -

Vol.68

SEP & OCT 2020 - 秋号 1

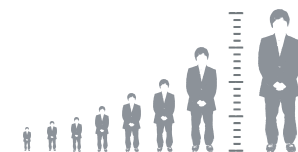
さちんと市政 & 議会報告 (068号)



編集・発行

岐阜市議会議員 和田直也 事務所

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1 善福寺ビル1F
TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp



和田直也を大きくする会



オンライン市政 & 議会報告！発信中

市政 & 議会報告会をダイジェストで発信しています



毎月開催 ＊
みんなの知恵を
集める cafe ♪

10月3日（土曜）10:00-11:00

みんなの森 GIFU メディアコスモス
「かんがえるスタジオ」でお待ちしています！

＊毎月開催の「みんなの知恵を集めるカフェ」今回のテーマは**都心の土地利用実態と今後の都市再開発**についてです。ドンキホーテ閉店、岐阜高島屋南地区再開発、柳ヶ瀬商店街のリノベーションなど動きが盛んな岐阜市中心市街地の土地利用実態はどうなっているのかをレポートした上で、皆さんと知恵を絞りたいと思います。お気軽にご参加ください。時節柄、マスク等のコロナ対策をお願いします。

岐阜市議会議員 和田直也 (office@wada-naoya.jp)



昭和 55（1980）年生まれ。岐阜幼稚園、木之本小（現 徹明さくら小）、本荘中、米国 Saratoga High School 交換派遣、県岐阜国際コミ科、立命館大学法学部を経て立命館大学大学院法学研究科 前期博士課程を修了（法学修士）。2006 年岐阜市に戻り（株）HA テレコム並びに日本再生研究会（梶原拓元岐阜県知事）事務所で勤務、2007（平成 19）年の統一地方選で初当選（26 歳）、現在 4 期目。このまちの未来の声に応えるため、中長期的に政策構想します。

党派：自由民主党 会派：自民岐阜（副政務調査会長）団体：クラブ青空
所属：経済環境委（副委員長）議会運営委（委員）都市計画審（委員）

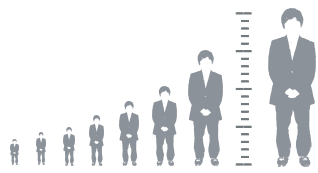


和田直也公式 HP-QR

▼ 今月号＊特集（内面ご覧ください）

- ・10年後の交通政策＋ぎふ MaaS 研究会を開催
- ・長良川の鮎は目の健康食品！
- ・柳ヶ瀬ドンキ後の再開発について
- ・新型コロナ情報 QR リンク





和田直也を大きくする会

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1 善福寺ビル1F
TEL+FAX: 058-251-2638 E-mail: office@wada-naoya.jp



Website



Twitter



Facebook



Instagram



LINE

Vol.68

SEP & OCT 2020 - 秋号 1

きちんと市政と議会報告 (068号)

毎月開催 ＊
みんなの知恵を
集める cafe ♪

10月3日(土曜) 10:00-11:00

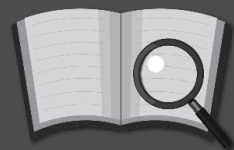
- ＊ 中心市街地の土地利用実態の調査報告！
- ＊ これからの都市再開発について



「みんなの森 GIFU メディアコスモス」でお待ちしています。どなたでも気軽にお出かけください♪

新型コロナウイルス感染症

ご利用ください
お役立ち情報



『国』の対策一覧 QR

- ＊ 家賃、特別定額給付金、持続化給付金など経済支援に関する情報、健康福祉支援の情報など各中央省庁の支援策一覧

『県』の対策一覧 QR

- ＊ 岐阜県独自の非常事態宣言発令に関する情報、PCR検査に関する新しい生活様式の実践例についての情報など

『市』の対策一覧 QR

- ＊ 延期・中止となった岐阜市内のイベントについて、岐阜市の独自支援策について、コロナに関する相談窓口情報など



首相官邸



岐阜県



岐阜市



with コロナとMaaS

情報革新と交通大革命が進んでいます。今後は with コロナで研究を継続します

◆きん MaaS 研究会を開催

若 々しさ大切に自由な発想で活動を展開、以前から関心を高めている MaaS (Mobility as a Service) ICTを活用して交通をクラウド化し、自家用車以外の交通手段による移動をチームレスにつなぐ新たな移動概念について、岐阜をフィールドに展開するバスやタクシーなどの交通事業者に加え A-1 等小型モビリティものづくり、ドローン、シンクタンク、学生、行政担当はどう考えているのかを情報交換するプラットフォームを作りたいたいと思ひ、あちこち提案して第一回目の勉強会を開きました。概ね十年後を目安に岐阜の人々の移動がどう展開していくかを構想しつつ色々な情報交換をしていきたいと思います。



鰻匠の鮎！目の健康食品

岐阜薬科大の研究発表として長良川の鮎が目の健康食品として注目されています

◆長良川の鮎は目の健康食品

鮎 に関する新しい発見です。このほど岐阜薬科大学の原英彰教授(薬効解析学)より、長良川の鮎には目の衰えや病気を予防し、パソコンやスマホのLEDディスプレイからのダメージから細胞を守るゼアキサンチンと呼ばれる色素が豊富に含まれていることが分かったと研究発表されました。特に鮎の背の皮の黄色い部分とことです。これは、上流部の「らん藻」を食べて体内に多くの色素を蓄積することに加え、そもそも青色光などが届く水深の浅い川で生息していることから、目や皮を有害な光から守る性質があるため、とのこと。まさに「岐阜の長良川の鮎が目の健康食品」として注目されています。



柳ヶ瀬ドンキ後の活用策

周辺で進むマンション建設動向に注目しながら都心に求められる姿を構想します

◆柳ヶ瀬ドンキ後の再開発

丸 物、近鉄百貨店、メルサやセンサ、長崎屋などかつての柳ヶ瀬には大型の商業施設が集積していましたが、このほどドンキ閉店の報道にて淋しい空気が漂っています。跡地計画について動きを注視しています。高島屋南地区再開発をはじめ近隣ではマンション建設が相次いでおり、柳ヶ瀬が商業地から都心居住地へとマーケットがシフトしているのを感じつつ、今後は住環境の中から生まれる生活利便施設としての近隣商業施設ニーズの有無はもちろん、これに従来の中心市街地の要素を加えた次の再開発へ動き出せるかどうか、色々と情報交換しながら都心に求められる姿を主体的に迫っていきます。